

グラフでみる加工食品の 生産・販売・外食等の指標



目 次

< グラフでみる "コロナショック"からの再生 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

< 今月のトピック >

- ・ 2021年度農林水産物・食品の輸出額



1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の調査対象のうち、特に今般の新型コロナウイルス感染症の影響が大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

なお、詳細は、<https://www.fmrir.or.jp/stat/index.html>

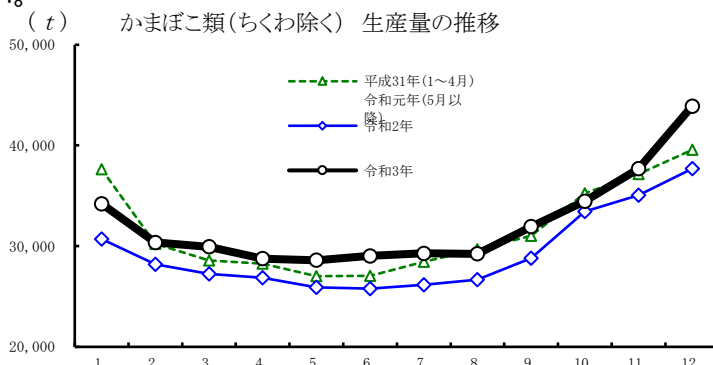
「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

12月 16.4% 増加

対前々年同月比 10.9% 増加

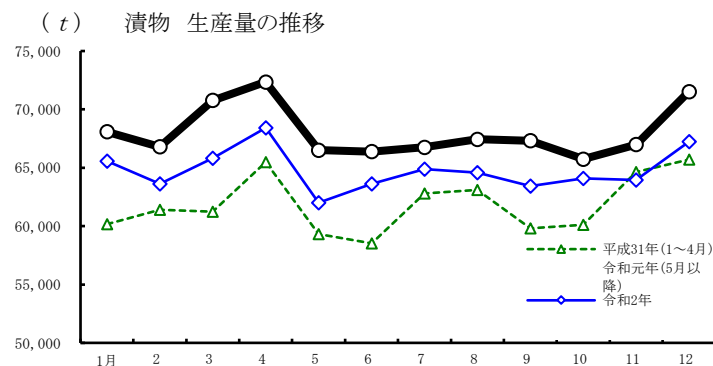


○ 漬物

生産量 対前年同月比

12月 6.4% 増加

対前々年同月比 8.9% 増加

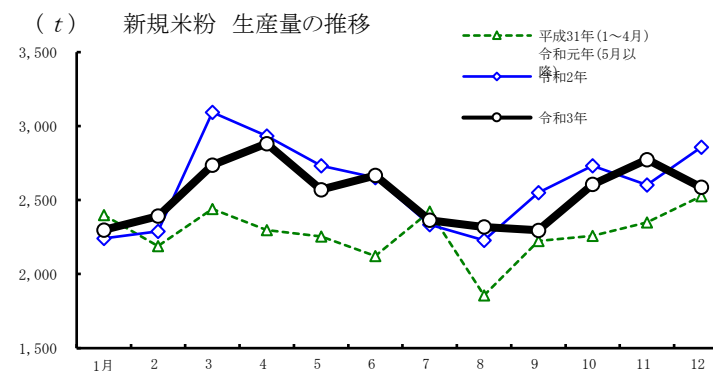


○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

12月 9.5% 減少

対前々年同月比 2.4% 増加

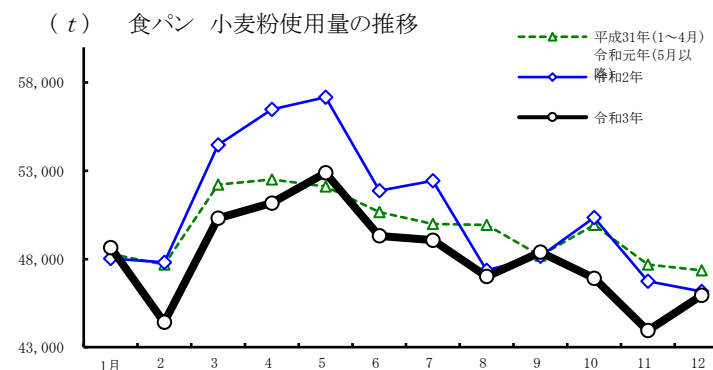


○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

12月 0.5% 減少

対前々年同月比 3.0% 減少



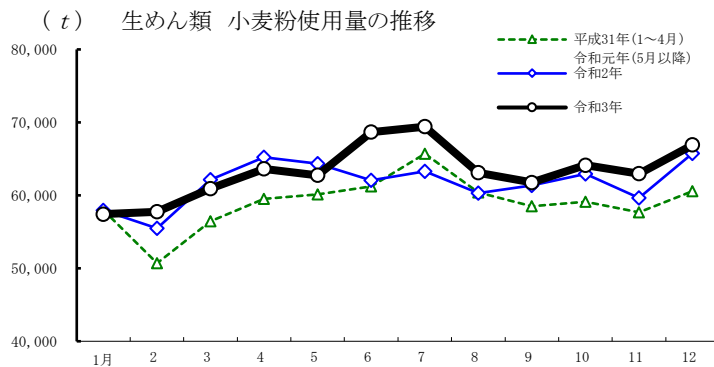
1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

12月 1.8% 増加

対前々年同月比 10.5% 増加

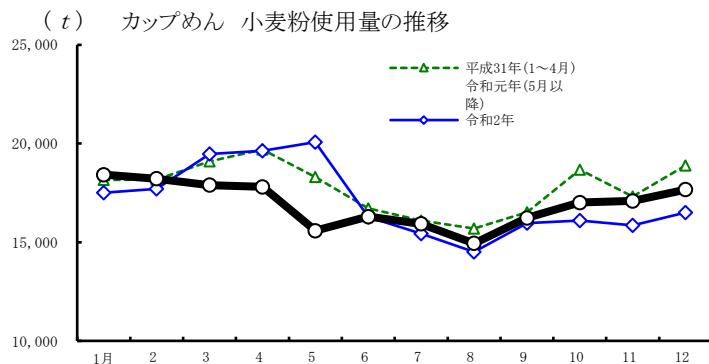


○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

12月 7.0% 増加

対前々年同月比 6.5% 減少

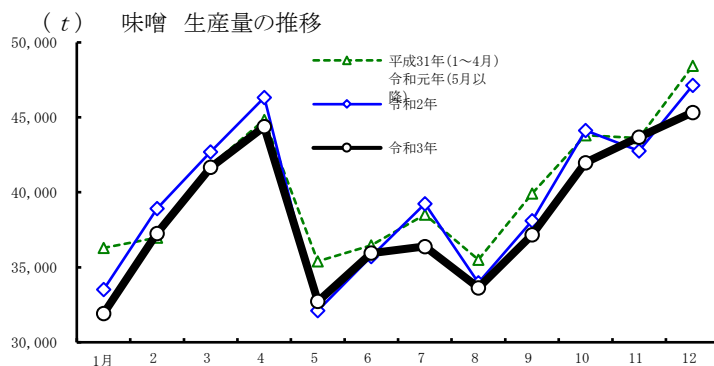


○ 味噌

生産量 対前年同月比

12月 3.8% 減少

対前々年同月比 6.4% 減少

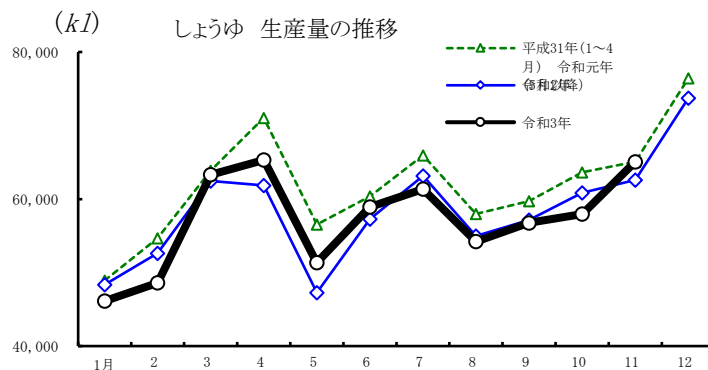


○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

11月 4.0% 増加

対前々年同月比 0.0% 前々年並



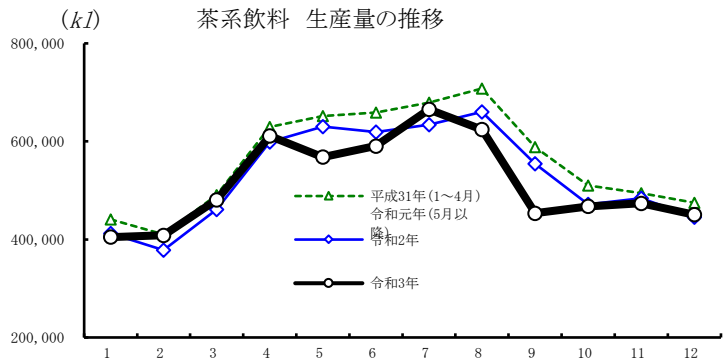
1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

12月 1.1% 増加

対前々年同月比 **5.1% 減少**

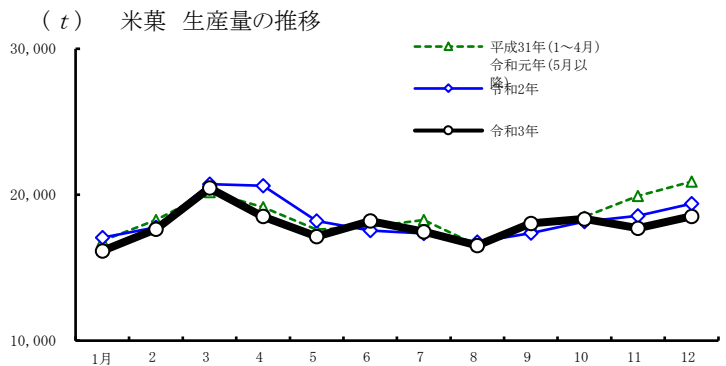


○ 米菓

生産量 対前年同月比

12月 4.5% 減少

対前々年同月比 **11.4% 減少**

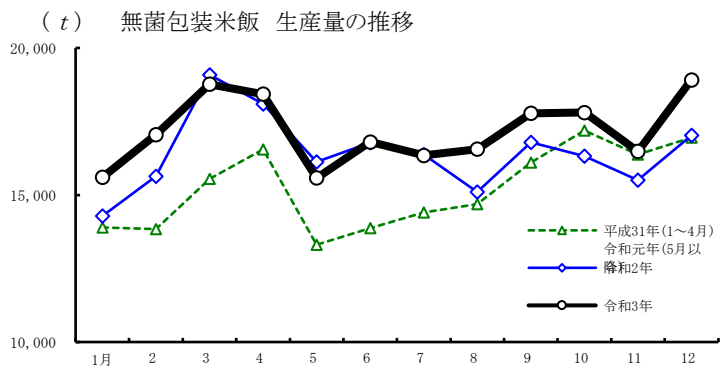


○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

12月 11.1% 増加

対前々年同月比 **11.6% 増加**

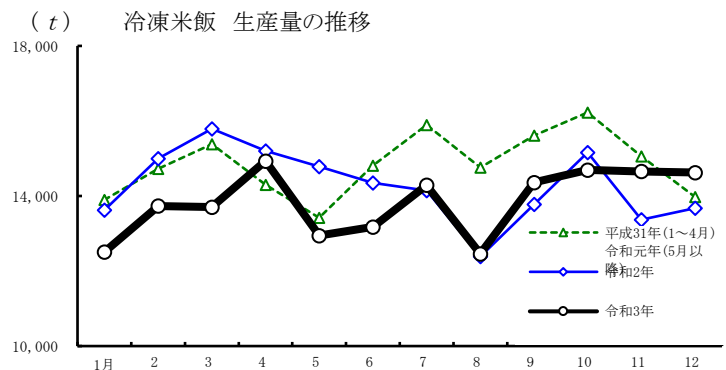


○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

12月 6.9% 増加

対前々年同月比 **4.7% 増加**



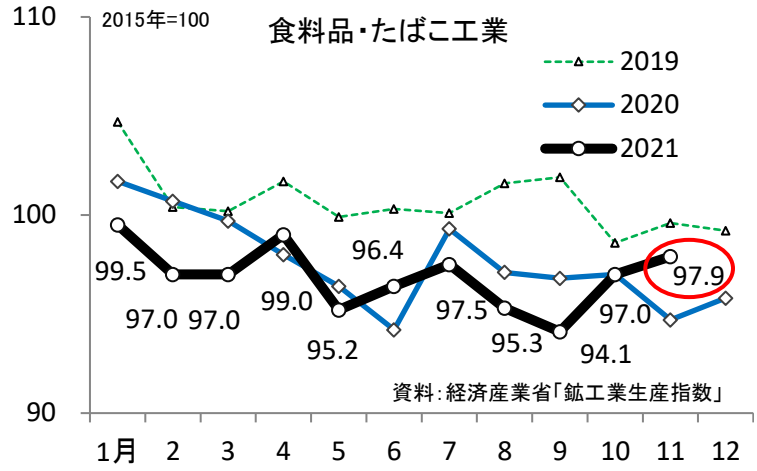
＜参考＞ 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

11月 3.4% 上昇

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

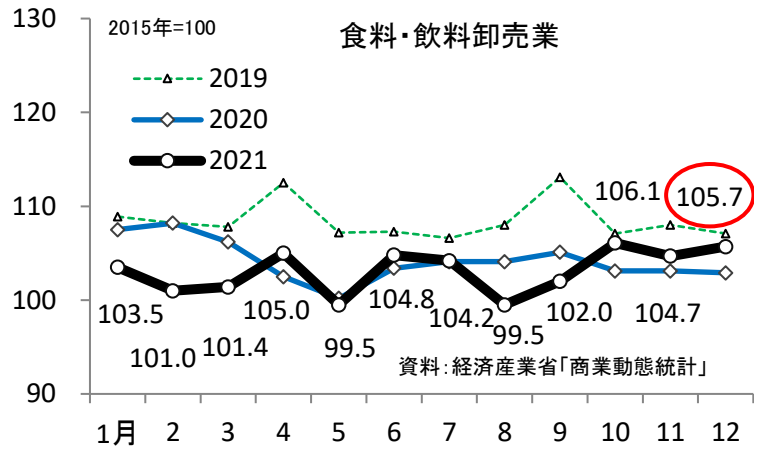
○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

12月 2.7% 増加

対前々年同月比 1.3% 減少

経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高（月次速報）について、みることができます。

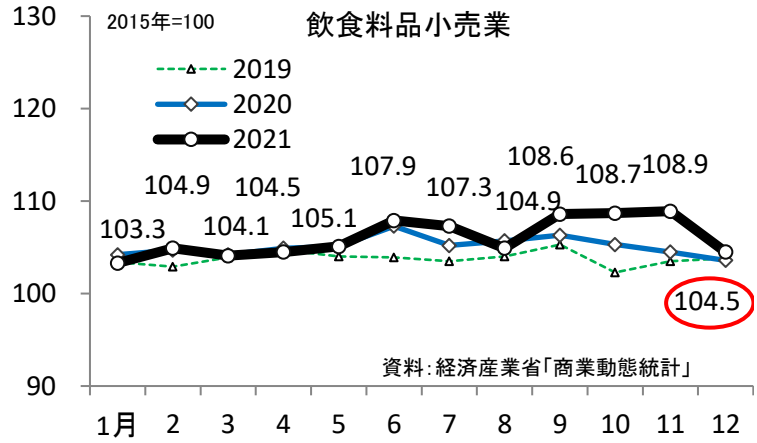


○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

12月 0.9% 増加

対前々年同月比 0.7% 増加

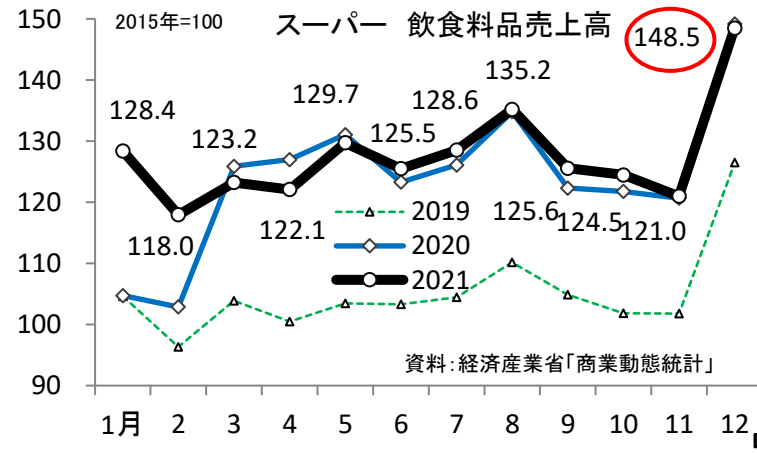


○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

12月 0.4% 減少

対前々年同月比 17.4% 増加



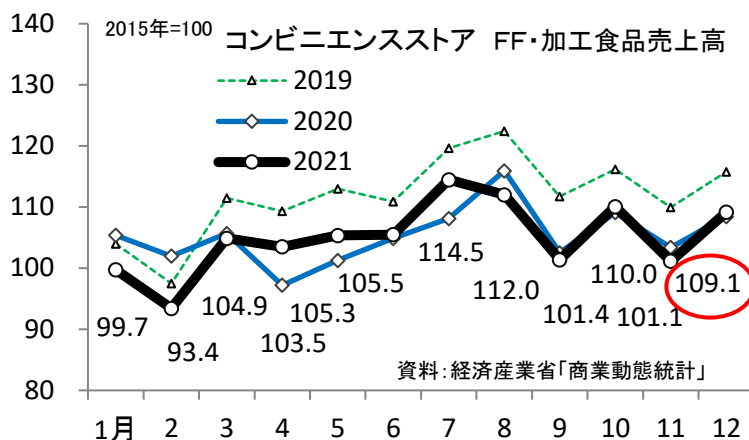
2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

12月 0.7% 増加

対前々年同月比 5.7% 減少

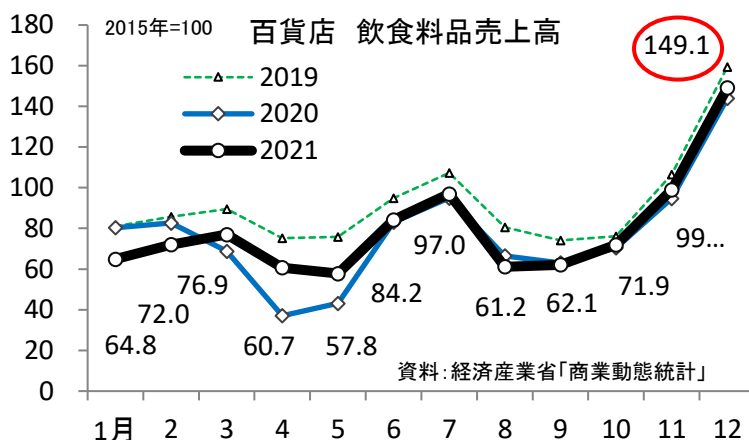


○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

12月 3.6% 増加

対前々年同月比 6.5% 減少



3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

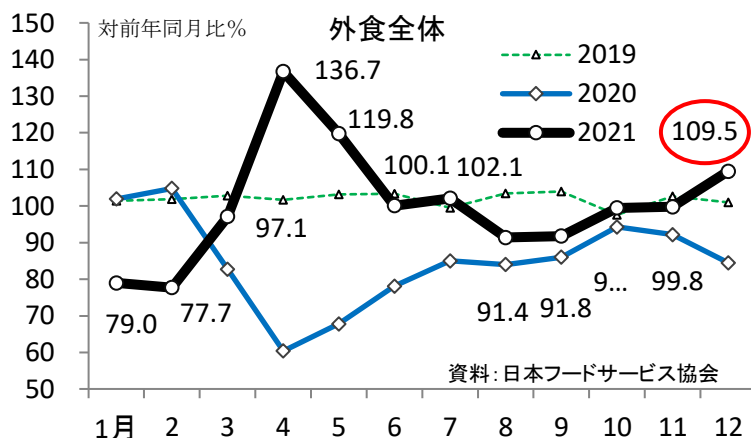
一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

12月 9.5% 増加

対前々年同月比 7.5% 減少



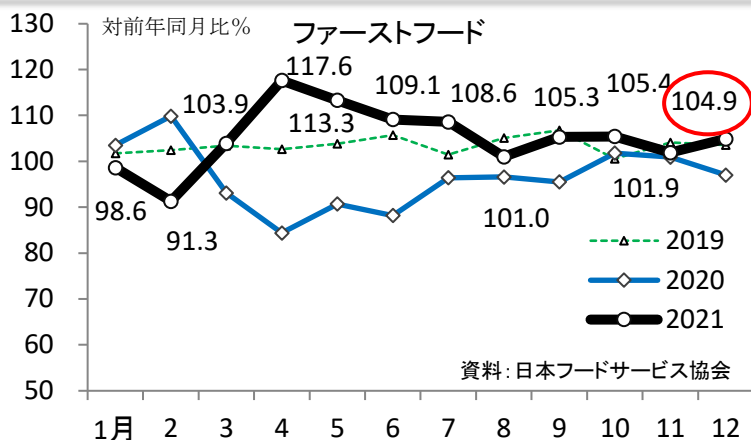
3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

12月 4.9% 増加

対前々年同月比 1.8% 増加

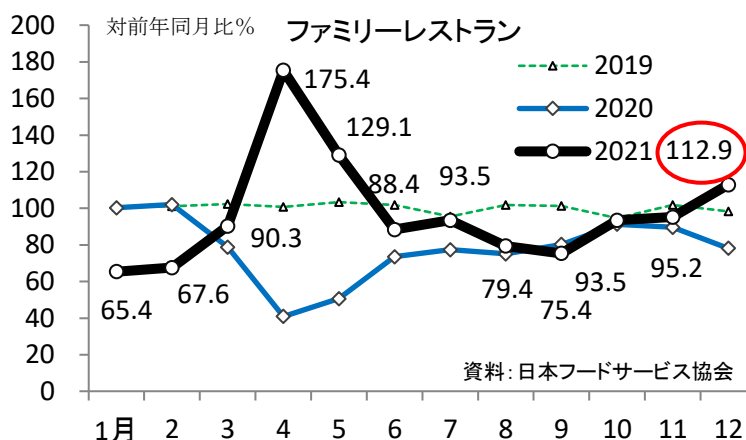


○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

12月 12.9% 増加

対前々年同月比 11.7% 減少

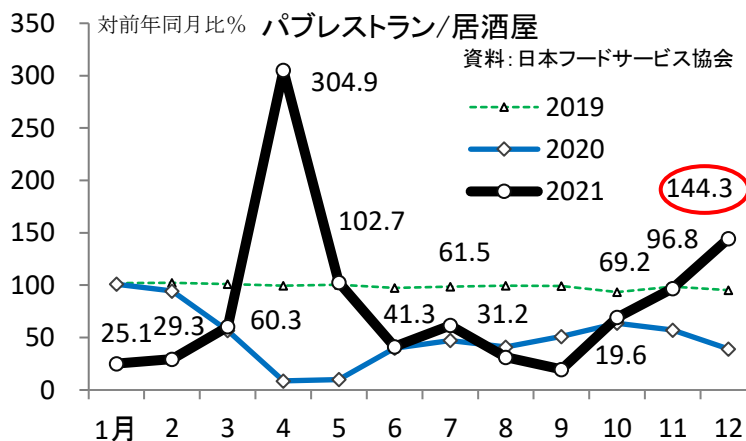


○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

12月 44.3% 増加

対前々年同月比 43.6% 減少

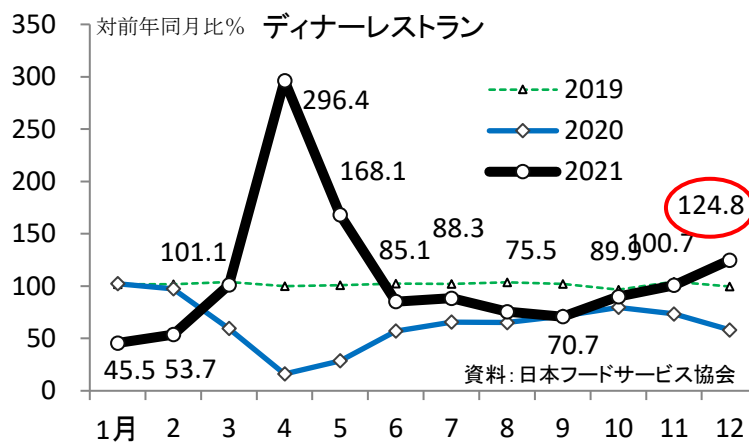


○ ディナーレストラン

全店売上高 対前年同月比

12月 24.8% 増加

対前々年同月比 27.5% 減少



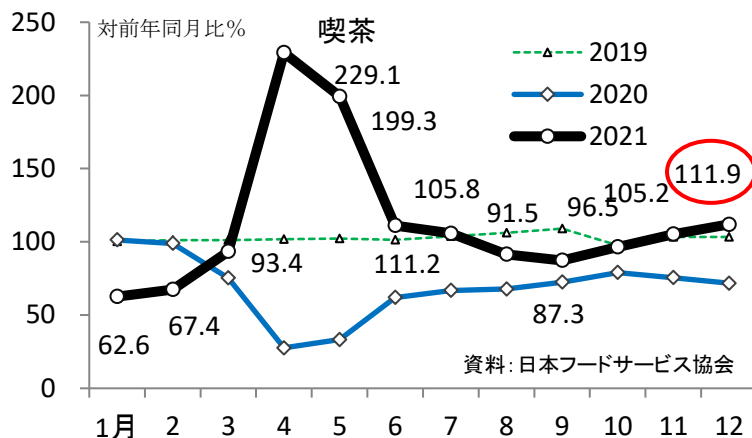
3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

12月 11.9% 増加

対前々年同月比 **19.8% 減少**



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

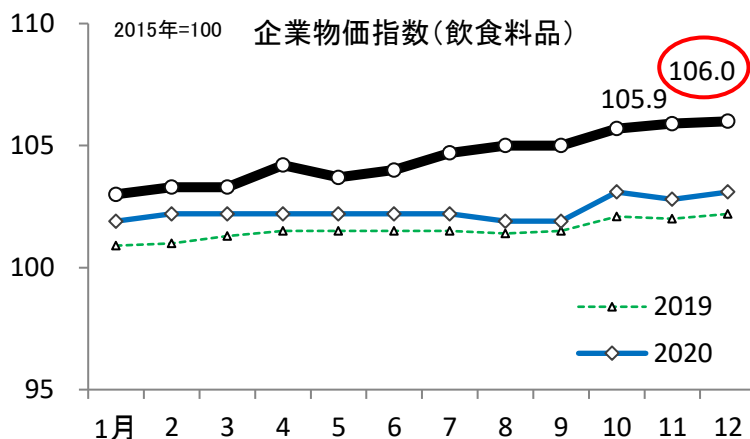
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

12月 2.8% 上昇



資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

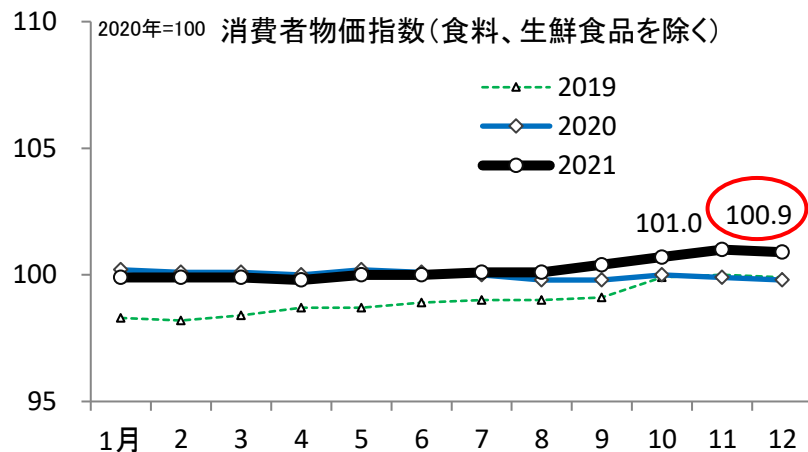
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比

12月 1.1% 上昇



資料：総務省「消費者物価指数」

2021年1-12月 農林水産物・食品の輸出額

農林水産省
輸出・国際局

	金額	前年差	前年比
1-12月累計 (1-12月累計の少額貨物輸出額を含む)	1兆2,385億円	+2,525億円	+25.6%

	少額貨物	前年比
1-12月	756億円	+25.3%

全体の状況（1-12月）

- 世界的に新型コロナウイルスの蔓延が続く中、消費者ニーズの変化に対応した、小売店向けやEC販売等の新たな販路への販売が堅調だったこと、中国や米国等の経済活動が回復傾向に向かい、外食需要も回復してきたこと等で、多くの品目で輸出額が伸び、総額も伸びた。
- 日本政府が政府一体で進めてきた輸出拡大の取組（輸出証明書の円滑な発行、牛肉処理加工施設や水産加工施設等の整備、輸出先国との規制交渉の進展、見本市・商談会の開催、輸出先国でのプロモーションなど）も輸出を後押し。

品目別の状況（1-12月）

農林水産省
輸出・国際局

輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額（増加率）	主な増加要因
ホタテ貝	+325億円（+104%）	中国、米国等の外食需要の回復や米国内の生産量減少の影響による単価上昇に加え、主産地の北海道での生産が順調で生産量が増加したこと等による数量増加
牛肉	+248億円（+86%）	米国等の外食需要が回復したことに加え、小売店向けやEC販売が好調
ウイスキー	+190億円（+70%）	世界的な知名度向上により、中国等向け単価の上昇や欧米向けに家庭内需要の増加
日本酒	+160億円（+66%）	小売店向けやEC販売の増加に加え、中国、米国等の外食需要の回復
真珠	+95億円（+125%）	新型コロナウイルスの影響で香港の展示会が中止されたことに代わり、直接取引が進行
青果物	+83億円（+28%）	春節時期が例年より遅く、りんご、いちご等の春節需要が2月上旬まで続いたことや、台湾におけるりんごの贈答用や家庭内需要が増加
ぶり	+74億円（+43%）	米国において、外食需要の回復により、冷凍ぶりフィレを中心に2020年落ち込んだ輸出需要が回復
ソース混合調味料	+70億円（+19%）	小売店向けやEC販売の増加に加え、アメリカ、EU向けを中心に外食需要が回復

輸出額の減少が大きい主な品目

品目	減少額（減少率）	主な減少要因
植木等	▲36億円（▲34%）	イヌマキの主要な輸出先である中国向けの輸出に必要な検疫条件設定について中国側の対応の遅れ
なまこ（調製）	▲26億円（▲14%）	香港における会食需要の減少により、高級食材である干しなまこの需要が減少
魚油	▲22億円（▲42%）	海上運賃の高騰の影響により、チリ向けを中心に輸出が減少
貝柱調製品	▲12億円（▲17%）	香港における会食需要が減少したこと、2020年は在庫を香港向けに多く輸出したことから、減少が大きい。
鶏肉	▲8億円（▲37%）	鳥インフルエンザ発生による輸出停止により、手羽、もみじの輸出が減少

2021年の農林水産物・食品 輸出額（1-12月）品目別

農林水産省
輸出・国際局

品 目	金 額 (百万円)	前年比 (%)
加工食品	459,502	+22.9
アルコール飲料	114,668	+61.4
日本酒	40,178	+66.4
ウイスキー	46,152	+70.2
焼酎（泡盛を含む）	1,746	+45.4
ソース混合調味料	43,533	+19.1
清涼飲料水	40,570	+18.8
菓子（米菓を除く）	24,422	+29.8
醤油	9,143	+21.7
米菓（あられ・せんべい）	5,637	+24.4
味噌	4,448	+15.7
畜産品	113,923	+47.7
畜産物	87,243	+46.7
牛肉	53,679	+85.9
牛乳・乳製品	24,390	+9.8
鶏卵	5,867	+27.9
豚肉	2,013	+14.5
鶏肉	1,295	▲ 37.2
穀物等	56,025	+9.8
米（援助米除く）	5,933	+11.6
野菜・果実等	56,950	+28.0
青果物	37,658	+28.3
りんご	16,212	+51.5
ぶどう	4,629	+12.4
いちご	4,061	+54.4
かんしょ	2,333	+13.1
もも	2,322	+24.1
ながいも	2,314	+8.7
かんきつ	1,101	+60.3
なし	961	+25.9

品 目	金 額 (百万円)	前年比 (%)
その他農産物	117,875	+8.6
たばこ	14,553	+2.5
緑茶	20,418	+26.1
花き	8,509	▲ 26.3
植木等	6,931	▲ 34.3
切花	1,344	+65.7
林産物	57,021	+32.9
丸太	21,070	+29.0
製材	9,789	+44.9
合板	7,524	+35.4
木製家具	5,444	+37.4
水産物（調製品除く）	233,562	+39.4
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	63,943	+103.7
ぶり	24,620	+42.6
さば	22,025	+7.7
かつお・まぐろ類	20,413	+0.1
真珠（天然・養殖）	17,078	+124.6
いわし	7,445	▲ 3.9
たい	5,042	+33.4
さけ・ます	3,572	▲ 9.3
すけとうたら	1,997	+20.1
さんま	635	+15.2
水産調製品	68,004	+13.4
なまこ（調製）	15,515	▲ 14.4
練り製品	11,258	+8.4
ホタテ貝（調製）	8,078	+73.9
貝柱調製品	5,967	▲ 16.6

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

2021年の農林水産物・食品 輸出額 国・地域別

農林水産省
輸出・国際局

順位	輸出先	2021年1-12月（累計）					2021年12月（単月）					
		輸出額 (億円)	金額 構成比 (%)	前年 同期比 (%)	輸出額内訳（億円）			輸出額 (億円)	前年 同月比 (%)	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物
1	中華人民共和国	2,224	19.1	+35.2	1,395	239	590	200	+8.9	133	21	45
2	香港	2,190	18.8	+6.0	1,505	18	668	214	▲ 10.2	143	2	69
3	アメリカ合衆国	1,683	14.5	+41.2	1,196	64	423	176	+46.2	113	6	57
4	台湾	1,245	10.7	+27.0	943	34	268	177	+40.1	131	4	42
5	ベトナム	585	5.0	+9.4	393	8	184	73	+11.9	47	0	26
6	大韓民国	527	4.5	+26.9	305	45	176	65	+43.4	33	4	28
7	タイ	441	3.8	+9.5	228	7	206	40	+24.6	25	1	14
8	シンガポール	409	3.5	+38.0	343	5	60	45	+26.0	37	1	7
9	オーストラリア	230	2.0	+39.1	203	2	25	26	+64.3	23	0	2
10	フィリピン	209	1.8	+35.6	77	108	24	22	+46.2	7	13	2
-	E U	629	5.4	+43.8	518	16	94	57	+25.5	44	1	12

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成